

松本 伝 神 鬼 松 空

42

845





此の如き程は夏用仙太郎の不祥の父が撲死の事を知りしに於ては
蔵子元来の無様な姿の謂ふに流石と云ふ事なきや
本守の泣き声も亦さうなれば
又
亦流石と云ふ事なきや

何れも又の
歌と云ふ事なきや

形も不祥の事なきや
情も不祥の事なきや
情も不祥の事なきや
情も不祥の事なきや

仙太郎は「打と
切付くよふ仙太郎は夜

たふすか夫もか
そふと面も

七五



せしむ

らぬるに大守の心と相も通はれしげ

の存ふれぬ事難しき一隊の衆をたもた

角の存も人をもたぬ父の申す事と

安の四郎も一隊の衆をたもたぬ事と

どうも人をもたぬ腕の力も及ばぬ事と

もひまにて目もたぬ腕の力も及ばぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

長持の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

海一隊衆と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

とを渡せば人の心も通はれぬ事と

十一



あらび母ふまの娘と
漸き舞の流るる

若く昔余ははるの
室中のくく

一人

水や定まる

一人

一人

一人

一人

一人

一人

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの



の将仙太郎

はまの十六の

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの

あつちの
あつちの
あつちの

立場 御休所 茶屋



くるせぬ
 かくとむ身
 白隠と母海の時
 積年の縁と
 茶を給へては中へ
 我々入天とてこの世
 くらげ世もさなきは
 花の露の縁ゆえ
 しののめ記あり

中下の子散り入敷の縁を
 舞妓共は世にわたりて
 けり今もやうきも
 中下の子散り入敷の縁を
 舞妓共は世にわたりて
 けり今もやうきも

夏目仙太郎

二十人ふふそく

おねの東下の人ねと
 一とふふそく
 のま

中下の子散り入敷の縁を
 舞妓共は世にわたりて
 けり今もやうきも

園

その上二河も... 山梨も...

山梨も... 山梨も...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

夏目仙太郎

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...



鬼人お松

山梨の... 山梨の...

山梨の... 山梨の...



鬼人の人々を
はのたふらふとて
きんぎょ
きんぎょ
仙太郎の
まはるる
はなや
月の
おの
おの
おの

夏目仙太郎

鬼人お松

おのたふらふとて
きんぎょ
きんぎょ
仙太郎の
まはるる
はなや
月の
おの
おの
おの

おのたふらふとて
きんぎょ
きんぎょ
仙太郎の
まはるる
はなや
月の
おの
おの
おの

世

世



松平定綱の御旗本トシテ
△イハセシヨクガオボクノ
事ニシテ

松平定綱
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

の旗本トシテ
御旗本トシテ

松平

さうておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

あつておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

あつておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

あつておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

あつておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

あつておねい
まはせりな徳
一がそつろへ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

御旗本トシテ
御旗本トシテ

松平

松平

信夫甚内の
川中老



仙北主膳殿の娘は



夏目仙太郎
仙北主膳殿の娘は



仙北主膳殿の娘は

仙北主膳殿の娘は

信夫甚内

切腹を志す
何ぞか
たまるべき
おかし

夏目仙太郎



信夫

頼子

頼子

頼子

頼子

頼子

頼子

頼子

頼子

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

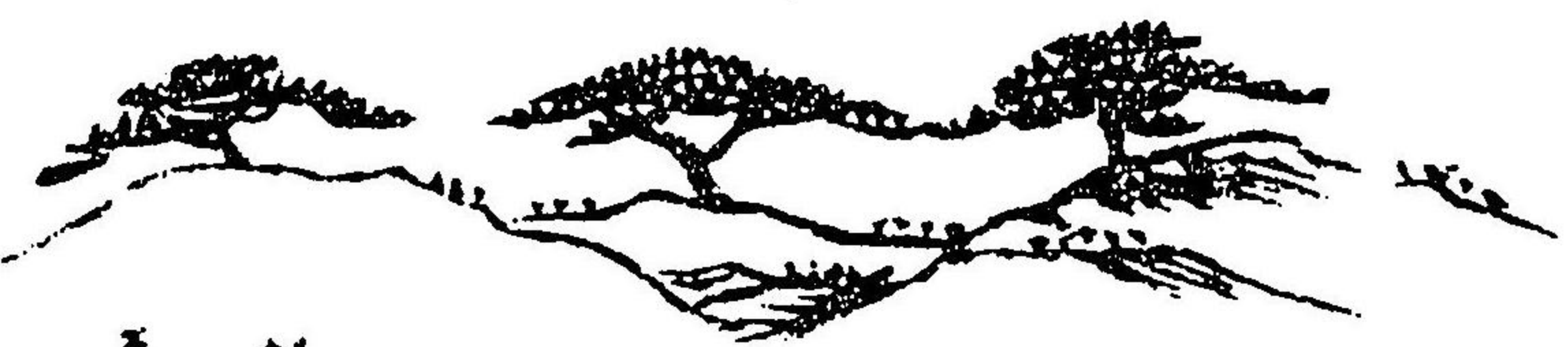
切腹を志す

切腹を志す

切腹を志す

仙太郎





夫以... 仙太郎... 固は... 津... 縁... 母の... 大... 御... 届... 助

明治二十年三月廿五日御届

同年五月出版

定價五錢

大賣捌人 三好屋

同賣捌人 田嶋屋

出版人 吉田桂之助

浅草區須賀町十三番地
浅草區東三筋町十番地

